

TOA 株式会社協賛

なかなかあえない

芸能

シリーズ Vol.03

能の源流(?)松囃子

～中世の祝とう芸能の競演「松づくし」～

主催：「月の舞台」運営実行委員会
 助成：日本芸術文化振興基金
 協賛：医療法人イキキ会、株式会社スパイラル
 認定：企業メセナ協議会 後援：関西元氣文化圏
 後援：岡山市、山陽新聞社、山陽放送、岡山放送

【日時】
2011年1月28日(金)

開場は30分前
 18:30～19:00 講演
 19:15～19:40 狂言
 19:45～20:00 半能

【場所】
 月の舞台
 岡山市北区兵団3-32スパイラル5階(JR宿舎北隣)
 Tel 086・222・6367 Fax 086・223・5687
 URL:<http://www.spiralring.jp/tukinobutai>



開電バス：妙善寺・三野行「南方交番前」
 宇野バス：三野方面行「南方交番前」・東岡山方面行「就実高校中学前」下車徒歩5分
【チケット】
 前売3,500円 当日4,000円
【チケット販売・お問い合わせ】
 「月の舞台」運営実行委員会事務局
 Tel 086・222・6376
 岡山：ぎんざや Tel 086・222・3244
 岡山シンフォニーホールチケットセンター
 Tel 086・234・2010

プログラム

■特別講演「松囃子とは？」

吉川周平(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター前所長)

■公演 中世の祝とう芸能の競演「松づくし」

大蔵流狂言「松脂(まつやに)」

松脂ノ精：善竹忠重 主：善竹忠亮 太郎冠者：牟田素之 立頭：岡村和彦
 立衆：阿草一徳、稲田裕、尾鍋智史、小林維毅、徳田知道、前川吉也、大槻高平
 笛：左鴻泰弘(森田流) 小鼓：曾和尚靖(幸流)
 大鼓：石井保彦(石井流) 太鼓：井上敬介(観世流)

観世流半能「高砂 八段之舞」 片山伸吾

笛：左鴻泰弘(森田流) 小鼓：曾和尚靖(幸流)
 大鼓：石井保彦(石井流) 太鼓：井上敬介(観世流)
 地謡：田茂井廣道・河村和晃 後見：梅田嘉宏

能の源流の一つといわれる松囃子(まつばやし)は、室町時代一般に流行したパフォーマンス。新春に、その象徴である松を、囃子言葉や音楽、芸能ではやすもので、後に幕府で正月の嘉例として演じるようになりました。現在、様々なダンスを取り込んで増殖発展、各地で催されている「よさこい」のようなエネルギーと人気があったのではないかと思います。能・狂言の特異な点の一つは、亡霊や神、鬼などこの世にものではない異次元の存在がシテ(主役)となって登場する事です。新春を寿ぎ、松脂の精が松囃子にノって現れる狂言「松脂」と、青年の神が力強く烈しい神舞を舞う室町末期ごろの小書き(特殊演出)の能「高砂」後場をお届けします。おめでたい「松づくし」をお楽しみください。

伴野久美子

プロフィール

●吉川周平(きかわ・しゅうへい 日本伝統芸能・音楽・舞踊を研究)
 1939年大阪府堺市生まれ。音楽、舞踊、演劇などと分化している西洋近代の芸術と異なり、それらのものが未分化のまま行われている日本の伝統芸能の要素を取り出して、その機能を、周辺諸国を含むフィールドワークによって分析・研究している。2002年京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授、04～08年同センター所長、04年京都市立芸術大学名誉教授。

●片山伸吾(かたやま・しんご 観世流シテ方)
 1968年生まれ。幼少より父片山慶次郎及び伯父片山幽雪(人間国宝)に稽古を受け、「石橋」「乱」「道成寺」「望月」等を抜く。古典芸能全般の勉強会『花習塾』(2011年3月)Japan Society主催全米4都市で公演予定)を主宰。また京都の若手伝統芸能家と構成する舞台創作グループ「京都創生座」のプロジェクトチームのリーダーを務める。平成19年度京都府文化奨励賞受賞。http://w01.tp1.jp/?a470112769/

●左鴻泰弘(さこう・やすひろ 森田流笛方)
 1966年生まれ。杉市和師に師事。「獅子」「乱」「翁」を抜く。

●曾和尚靖(そわ・なおやす 幸流小鼓方)
 1973年生まれ。祖父・博朗(人間国宝)、父・正博に師事。「翁頭取」「石橋」「乱」「道成寺」「鶯」「卒都婆小町」を抜く。平成21年度京都市芸術新人賞受賞。www.p-kodou.com/

●石井保彦(いしい・やすひこ 石井流大鼓方)
 1964年生まれ。父・善彦及び谷口正善師に師事。「乱」「石橋」「翁」「道成寺」「卒都婆小町」を抜く。

●井上敬介(いのうえ・けいすけ 観世流太鼓方)
 1955年生まれ。十六世宗家 観世元信・観世元伯・小寺俊三各師に師事。「獅子」「乱」「道成寺」「鶯」を抜く。

●善竹忠重(ぜんちく・ただしげ 大蔵流狂言方)
 1947年生まれ。初世善竹忠一郎の次男。父及び祖父・故善竹彌五郎(狂言方初の人間国宝)に師事。63年金春流宗家より彌五郎が善竹の姓を受け、一家をあけて改姓。「三番三」、「花子」を抜く。91年重要無形文化財総合指定を受ける。2008年TheatreProjectSi公演「リヤ王」主演。10年プロジェクト・モリエール始動。志芸の会を主宰、世襲以外にも門戸を開いている。http://www.shigenokai.com/

●善竹忠亮(ぜんちく・ただあき 大蔵流狂言方)
 1980年生まれ。父・善竹忠重に師事。98年語「那須」を抜く。98年大阪府芸術劇場奨励新人に指定。2000年「千歳」・01年「三番三」を抜く。08年TheatreProjectSi公演「ハムレット」主演。09年「釣狐」を抜く。http://www.zenchiku.com/

●企画・制作／伴野久美子(ばんの・くみこ 現代美術家)

1978年甲南大学経営学部卒業。美術を元永定正氏、帽子デザインを平田和子氏に師事。現代日本美術展、朝日現代クラフト展ほか入選。毎年個展を開催。93年から舞台プロデュースを手がける。05年から「古典の新芽」「なかなかあえない芸能」、07年から「見て聴いて 参加して」シリーズを開始。

関連企画

●神戸公演 2011年1月29(土)15:30～17:00
 神戸ポートアイランド・ジーベックホール 078・303・5600 <http://www.xebec.co.jp> 前売3,500円、当日4,000円 定員100人
 主催・お問い合わせ・チケット取り扱い・ワークショップ参加申し込み：パフォーマンス イン ミュージアム実行委員会 078・822・2545
 チケット取り扱い：電子チケットびあ予約電話：0570・02・9999P コード：405-101@電子チケットびあ <http://pia.jp/> (PC・携帯電話共通)
 取り扱い店舗：チケットびあ店舗／サークルK・サンクス／セブンイレブン ジーベックカフェ(電話予約)平日10:00～17:00 078・303・5604
 能、狂言のワークショップ／1月29日(土)13:00～14:00 無料(要公演チケット)於・ジーベックスタジオ。要予約、定員各15人、白足袋をご持参ください。